



下館ロータリークラブ会報

第 02679 号

発行日 / 令和 6 年 12 月 4 日



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本日のプログラム

年次総会

次週のプログラム

会員卓話

会長 / 宮田 憲一

副会長 / 早瀬 浩一

幹事 / 潮田 武彦

会長エレクト / 堀江 勤

Facebook



例会日時 / 水曜日 12 時 30 分

例会場 / ダイヤモンドホール (〒308-0847 茨城県筑西市玉戸 1053-4 ☎0296-28-8511)

URL / <http://www.shimodate-rc.gr.jp>

E-mail / shimodate@ri2820.jp

Instagram





前例会報告 第 3073 回 2024/11/20(水)

会長挨拶 宮田 憲一 会長

みなさんこんにちは。

11月10日の地区大会、11月13日のネパール・カスタマングアップRC歓迎例会と大変お疲れさまでした。

また11月15日(金)にスプリングフィールズゴルフクラブで開催された第107回7RC親善ゴルフ大会へのご参加ありがとうございました。当クラブより、新井PDG、塚田会員、横塚会員の3名が参加され、団体戦では4位の成績ということで、大変健闘されました。ありがとうございました。

次回春の大会は、岩瀬RCが幹事クラブとなり、来年11月は下館が幹事となります。

さて今月はロータリー財団月間です。

本日のプログラムでは、先月末に新井PDGとともに訪問したタイ・インドの報告をさせていただきます。

ロータリー財団月間にちなみ、グローバル補助金事業についてお話しさせていただきます。よろしくお願いたします。

カスタマングアップロータリークラブの皆さんは9日地区大会に合わせて来日し、温泉や東京観光、京都奈良観光などを楽しまれて、18日朝の便でネパールに帰国いたしました。

クラブの皆様には、車での送迎、歓迎例会はじめネパールの皆様への『おもてなし』にご協力いただきありがとうございました。

今回、ネパールのみなさんの訪問により、ロータリーの友情をととても感じる場面がいくつもありました。

結城ロータリークラブ齋藤会長には、8月から旅行の企画・手配にお世話になり、お仕事とはいえかなりの労力を費やされ、お陰様で素晴らしい日本の旅を堪能していただく事

ができました。

土浦ロータリークラブの原田会長・廣瀬幹事、関本地区社会奉仕総括委員長には、成田空港でのお出迎えから日立への送迎と、大変お世話になりました。

同じく平島地区国際奉仕総括委員長、中島ネパール担当委員には地区大会や歓迎例会にてさまざま配慮いただき、また晩餐会後の2次会の開催などもお世話になりました。

そして大高司郎ガバナー、ガバナー事務所、今川隆会長率いる高萩ロータリークラブを中心に第一分区の皆様には大変心温まるホスピタリティを提供いただき、素晴らしい地区大会をネパールのみなさんとともに過ごせたことに心より感謝を申し上げたいと思います。

特に今川会長には来日予定日の変更など、大変丁寧に、フレキシブルにご対応いただきました。

このような様々なロータリーの友情を感じることができたのも、カスタマングアップの皆さんが日本に来てくれたおかげだと思っています。

近く、ご協力いただいたクラブへメイクアップを予定しておりますので、ご一緒いただける方がおりましたらご一報ください。

このように多くの行事がありましたため、今月はロータリー財団寄付の受付日が少ない状況ですが、財団寄付のご協力をお願いいたします。会長あいさつは以上となります。

理事会報告 潮田 武彦 幹事

- 1月・2月・3月プログラム承認
- 能登・ネパール義援金承認

幹事報告 潮田 武彦 幹事

- ガバナー事務所より 地区大会の礼状受理
- 地区新入会員オリエンテーションの案内



日 時：25年1月19日13時～16時30分

開催場所：リリーベール小学校

対 象：入会3年未満（各クラブ3名）

○3RC合同新年会

日 時：25年1月9日（木）18：30～

開催場所：ダイヤモンドホール

タイ・インド訪問報告会

宮田 憲一 会長

旅の概要

■ 目的

■ 参加者

■ 行程

旅の目的

① バンラックRC40周年式典

・タイでのGGインターナショナルパートナー

② グローバル補助金事業

・インドでの事業の引渡し式

③ 現地ロータリアンとの交流

・タイ（バンラックRC）インド（アリガールスマートシティRC・アグラタージマハルRC）
・タージマハル見学

旅の概要

■ 目的

■ 参加者

■ 行程

旅の参加者

① 下館ロータリークラブ

・会長 宮田 憲一
・新井 和雄パストガバナー
奥様 新井 みや子様

② 日立ロータリークラブ

・藤居 彰一パストガバナー

旅の概要

■ 目的

■ 参加者

■ 行程

| | | | |
|--------|---------------|-----------|-----|
| 25日（金） | バンコク到着 | 夕食会 | タイ |
| 26日（土） | バンコク観光 | クルージング | |
| 27日（日） | バンラックRC40周年式典 | | |
| 28日（月） | バンコク⇒インド・デリーへ | アリガール市へ移動 | インド |
| | | 5つの小学校視察 | |
| 29日（火） | 小学校でのGG引き渡し式 | | |
| | アグラ市へ移動 | 眼科病院 | |
| | タージマハル見学 | | |
| 30日（水） | ショッピング・空港へ | 帰国 | |
| 31日（木） | 早朝 | 羽田空港着 | |



シェアシステムによる財団資金の活用



グローバル補助金

複数国のロータリークラブ／地区による協同活動に対して授与され、大規模（活動予算3万ドル以上）で測定可能な成果を生む持続可能な活動が対象

グローバル補助金プロジェクトの醍醐味

- ✓ 大規模な国際的活動に参加－ダイナミズムを実感
- ✓ 地域社会のニーズに応える－世界で良いことをしよう
- ✓ 世界規模の連帯と友情の輪を拡げる





Thank you Letter

2024年10月吉日

下館ロータリークラブ
ロータリー財団へ寄付をしてくれたあなたへ

2024-25年度 2820地区
ガバナー 大高 司郎
ロータリー財団委員会一員

地区内会員の皆様方には、日頃よりロータリー財団の取り組みに対し、多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、3年前となります2021-2022年度に於きまして、皆様から年次基金-シェアへ279,766ドルの寄付が寄せられました。これらの寄付は3年間投資運用され、今年度は、161,887ドルが地区財団活動資金(DOF)に、同額が国際財団活動資金(IFF)として合計323,000ドルが皆様のクラブの地区補助金事業やグローバル補助金事業、ポリオ根絶活動などに活用されています。こうした皆様からの寄付のお蔭で、今年度も地区内全55ロータリークラブと1つのロータリーアクトクラブが補助金を申請され、地域社会で世界で良い事業を展開しています。

皆様のご厚情により感謝申し上げますとともに、今年度も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

2820地区の補助金活用事例



貴クラブからは貴方の寄付を含め21-22年度に合計4,933ドルのご寄付を頂きました。
ここに、衷心より感謝申し上げますとともに、今年度も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

結婚記念 早瀬 浩一さん

- ▶宮田 憲一さん 本日は、インド・タイの報告をいたします。
- ▶潮田 武彦さん 宮田会長、インド・タイ訪問の報告楽しみです。よろしくお祈りします。
- ▶新井 和雄さん 宮田会長、タイ・インドプロジェクト報告よろしくお祈りします。
- ▶神山 芳子さん 宮田会長、11/9から1週間カスタマングラップRCの皆さんとのお付き合いありがとうございました。
- ▶中里 泰久さん 財団月間です。本日、後のテーブルで受付けしてしますのでよろしくお祈りいたします。
- ▶永井 啓一さん 宮田会長、タイ・インド報告会楽しみにしておりました。よろしくお祈りします。
- ▶鈴木 士裕さん タイ・インドのお話楽しみです。宮田会長よろしくお祈りします。
- ▶横塚 篤さん 宮田会長、インド・タイ訪問大変お疲れ様でした。お話を楽しみにしております。
- ▶鈴木 健一さん 宮田会長、インド・タイ訪問の報告よろしくお祈りします。

スマイルBOX 鈴木 健一 副委員長

お祝い事

- 会員誕生 瀧田 昌甫さん
潮田 武彦さん



本日の合計 32,000円

累計 273,000円

出席報告

| 会員数 | 出席数 | 欠席数 | 病欠 | 免除 |
|-----|-----|-----|----|----|
| 17 | 11 | 4 | 1 | 1 |



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理規準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理想を實踐すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。